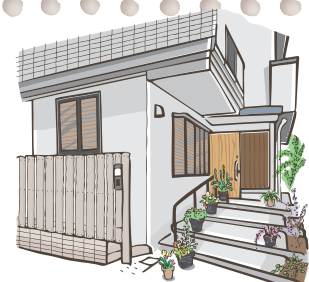


お宅拝見!

建築家の玉井さんがリフォームしたSさんご夫婦のお住まいは、JR中央線「武蔵境」駅から徒歩7分の閑静な住宅地にありました。

今回のリフォームのポイント

- ◎ 調理や洗濯などの家事動線をスムーズに作業しやすく。
- ◎ 玄関を引き戸で仕切り断熱性を高めてリビングを暖かく。
- ◎ 部屋の入口を移動して引き戸にすることで収納が充実。
- ◎ 階段の勾配やトイレの広さなど高齢のお二人にも配慮。



使われていなかった駐車スペースに玄関を新設し、手前が負担の少ないバリアフリーのアプローチになっていました。

バリアフリー

この和室がご夫婦のお部屋の真ん中にあることで、ご夫婦の適度な距離が生まれます。



BEFORE



AFTER



和室は娘さん家族が泊まれるよう空けてありました。天井や押入れ、障子などをそのまま活かし、以前の家の印象を思い出して残しつつも、間接照明などの工夫でスタイリッシュな印象に！和室からベランダへ出るドアも新たにすることで、洗濯物をベランダに干す際に一旦ご主人の部屋を経由しなくてもよくなり、家事動線も改善されました。

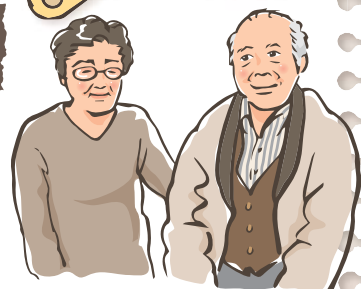
建築家の玉井さん



「あざむきの散歩」というブログもやってます

お父さまが大工さんという環境で育ち、建築の道に進んだ玉井さん。当日は細かいところまで丁寧に説明していただきました。

施主さんは80代のご夫婦Sさん



Sさんの築25年木造2階ご自宅 延べ床32.6坪

高齢のご両親を心配された二人の娘さんが、より住みやすくなるリフォームを考えられたのがきっかけだったそうです。玉井さんを選ばれた理由は、若い感覚あふれるプランと「フットワークがやさそう」というお二人の印象です。

断熱性能UP

以前に玄関だった部分は引き戸を設けてパントリーに。階段部分が玄関から仕切られてリビングと一体になったことで、寒い思いをせず2階に上られるようになっていきます。



BEFORE



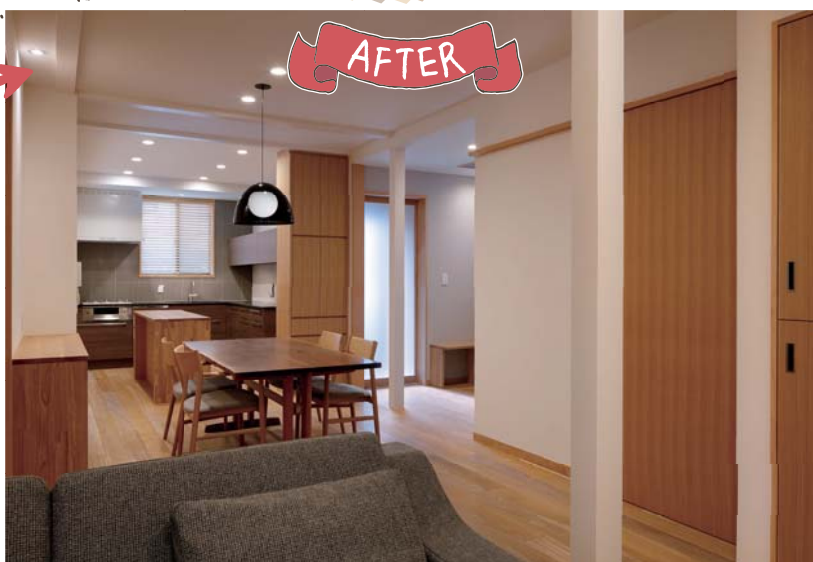
AFTER

外部空間と内部空間を2枚で仕切って家全体が暖かくなるようにしています



玄関をガラス引き戸で仕切ったことで玄関ホールが風除室代わりに。そのうえ、ガラスの向こうにもう一部屋あるような広がりを感じます。

AFTER

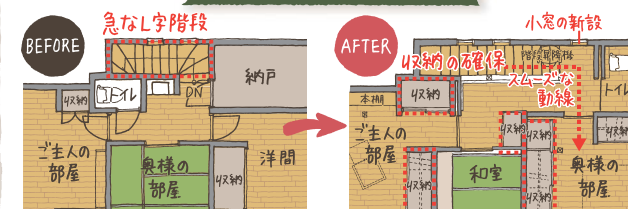


家事動線

無駄だった廊下をなくして水廻りが広々と使いやすくなりました。



収納の見直し



「2階には納戸があったんですよ」と玉井さん。納戸をなくすことでし字階段をまっすぐに。開き戸はすべて引戸に変更して収納スペースを確保しました。ついつい詰め込んでしまっ有効に活用できない納戸を無くし、各部屋の収納を充実させることで、整理しやすい収納をつくりました。

玉井さんに、設計を手がける際に心掛けていることを聞いてみました。



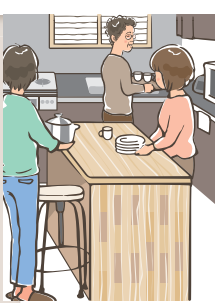
僕が大切にしているのは、いつも住まわれてきた「ご家族の時間」です。だからリフォームでは、その家で必要な部分は残しながら居心地のよさを高めるプランを提案するようにしています。

建築家にお願いしてみて良かったことを教えてください

奥さんがキッチンにいる時、ご主人がリビングにいても気配を感じつつも気にならない適度な距離感を大切にしました



キッチンカウンターは、二人の娘さんや人が集まる時にスムーズな動線を確保できるアイランド型に。



要望をちゃんとプランに活かしてくれる。家族のことも含めていろんなことをしっかり話し合えるのが、建築家さんに頼むリフォームのいいところかな。



見学を終えるとワインを飲みながら、にぎやかなトークの始まり。「打合せの後でお酒を飲みながら歓談することもありました」と玉井さん。こんな風に気軽に打ちとけあえる関係がご夫婦の暮らしにあったリフォームにつながっているんだと実感しました。

